

2018年度(平成30年度)学校評価自己評価表

城東中学校区	校番 5	福山市立城東中学校
最終更新日		2018年(平成30年)4月1日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>中学校区で統一した育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)のもと、9年間を見据えた系統的な児童・生徒の指導の在り方を協議し、自ら考え学ぶ授業を推進する。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>根拠を明確にして、自分の考えを表現したりする力が育ちつつある。個人差はあるが、自己有用感、自己肯定が低い傾向にある。</p>	<p>育成する力(21世紀“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>スキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を見つけ、解決の道筋を見いだす力 <課題発見・解決力> ○根拠をもって相手を説得する力 <論理的思考力・表現力> <p>倫理観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自他を認め合い思いやる態度 <協働性> ○自らの行動を律し、高まろうとする態度 <自己指導力> <p>目標を定める子 ねばり強く学ぶ子 自らを律し行動する子</p> <p>校区スタンダードで目指す児童・生徒の姿(達成基準)を系統的に4つのステージで捉え、校区で統一した取組を進め、共通の指標で評価していく。自ら考え学ぶ授業改善の実現に向けて、校区全体で児童・生徒に育むスキルと倫理観を明確にする。系統的指導のあり方を協議の柱として、校区授業研究を活性化する。</p>
---	--	---	--

III 自校

<p>ミッション</p> <p>志を高く掲げ、自立し、自己と郷土の豊かな将来を創造する生徒を育てる。</p>	<p>育成する力(21世紀“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像</p>	<p>課題発見・解決力</p> <p>1年生</p> <p>課題を見つけ、見通しを持って仲間と共に解決しようとしている。</p>	<p>論理的思考力・表現力</p> <p>自分の意見と相手の意見を比べながら聞き、根拠を明らかにして自分の考えを、説明することができる。</p>	<p>協働性</p> <p>相手意識を持ち、積極的に人間関係築こうとしている。</p>	<p>自己指導力</p> <p>様々な活動に進んで挑戦し、責任を持ってやりとげようとしている。</p> <p>自らの行動や学びが適切であるか振り返りながら、より良い生き方を創り上げようとしている。</p>
<p>学校教育目標</p> <p>自立・貢献</p> <p>(志を高く掲げ、自立し 豊かな人間性を磨き、地域・社会に貢献する生徒)</p>		<p>2・3年生</p> <p>課題を見つけ、思考・判断した過程や結果を見通しながら、集団で解決しようとしている。</p>	<p>複数の意見の相違点を踏まえて、より良い考えを創り出し、根拠を明らかにして、分かりやすく説明することができる。</p>	<p>相手意識を持ち、積極的に人間関係を築き、より良く生きようとしている。</p>	
<p>現状</p> <p><生徒></p> <p>体育大会、文化祭等の生徒の活動を通して、上級生がリーダーとなって、「一生涯懸命がカッコイイ」姿を見せることで下級生を育てる校風が定着している。また、城東3訓「時を守り、場を清め、礼を正す」が行動化しつつある。</p> <p><授業></p> <p>授業の始めに「めあて」を明確にし、授業の最後に学習内容を振り返る活動を行ってきた。しかし、振り返りをするときに、この「もっと考えたいこと」や「もっと調べてみたいこと」を考えさせるまでに至っていない。</p> <p>ペア・グループ学習を取り入れ、考えを深めたり広めたりする場面の設定の授業も増えてきた。しかし、生徒が自ら主体的に学ぶ授業にはなっていない。</p>		<p>教科等</p> <p>道徳</p>	<p>研究</p> <p>主題・内容等</p> <p>自ら主体的に学ぶ授業の創造 ～ やってみたい! 考えたい! 説明したい! ~</p>	<p>めざす授業の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分でじっくり考え、他者の意見も踏まえ、自己の考えを広げる授業 ○相手・目的・内容に応じて分かりやすく説明ができる 	

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立城東中学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	70%以上達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	70%以上達成評価	総合評価	改善方策
2	自ら考え学ぶ授業づくりの推進	★	見直	まなび合いによるわかる授業の創造	<ul style="list-style-type: none"> 個人思考・グループ思考、およびまとめ、振り返りの徹底 自主学習ノートの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 授業が分かりやすいという生徒 90%以上 全国学力・標準学力調査、全国平均以上 自主学習ノート活用している生徒90%以上 	担当 研究主任						
2	城東校区三訓「時を守り、場を清め、礼を正す」の定着	★	見直	協働性・自己指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律の徹底(2分前着席、立腰、黙想、挨拶) 長期欠席者の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律、校区3訓が定着しているという生徒90%以上 長期欠席者数 前年半減 	担当 生徒指導						
2	主体的に取り組む体づくりの推進		見直	体力・運動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 授業に新体力テストの不十分な項目を取り入れる。 部活動優先日を設定 	<ul style="list-style-type: none"> 新体力テスト県平均70%以上 週2回以上の指導及び生徒出席率75%以上 	担当 体力向上						
3	保護者・地域に信頼される学校づくりの推進		見直	自己有用感・自己肯定感の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り、学年通信、HPの定期的発行及び更新 学校環境整備・ボランティア活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者学校満足度90%以上 ボランティア活動を年1回以上行っている生徒90%以上 	担当 教務主任						

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。